

**「日本語教育の参照枠」補遺版の検討に関するワーキンググループの検討状況報告****○経 緯**

国内外の日本語学習者が日本語の習得段階に応じて求められる日本語教育の内容及び方法を明らかにし、外国人が適切な日本語教育を受けられ、評価できるようにすることを目的として、CEFR（ヨーロッパ言語共通参照枠）を参考として令和3年10月に「日本語教育の参照枠」を国語分科会報告として取りまとめた。

また、令和4年3月に「日本語教育の参照枠」の活用に関するワーキンググループにて、「日本語教育の参照枠」の活用のための手引き」を取りまとめた他、日本語能力評価ツール「にほんごチェック！」を作成し、文化庁の日本語教育コンテンツ共有サイト NEWS に掲載した。

**○目 的**

「日本語教育の参照枠」の基となっているヨーロッパ言語共通参照枠（CEFR）は2001年に公開され20年以上が経過した。その後、2020年に近年における欧州における言語教育環境の変化等に対応する言語能力記述文（Can do）などを示した CEFR（2020）が公開された。

本ワーキンググループでは、主に CEFR（2020）で示された言語能力記述文（Can do）や新たな概念等を日本語教育の文脈においてどのように扱っていくか検討し示すとともに、今後検討が必要な事項等について整理し、令和5年度末を目途に示すことを目指す。

**○方 法**

小委員会の下にワーキンググループを設置し検討を行う。同ワーキンググループは、検討内容を日本語教育小委員会に随時報告する。

**○検討事項**

- (1) 補遺版で新たに設置されたレベル（Pre-A1）について
- (2) 補遺版で説明が追加されたレベル（A2.2、B1.2、B2.2）について
- (3) 補遺版で新たに示された言語能力記述文（Can do）について

**○令和4年度の検討内容**

第1回 6月10日（金）15:00-17:00

- (1) ヒアリング（島田委員、長沼委員）
  - ・厚生労働省 就労場面で必要な日本語能力の目標設定ツール—円滑なコミュニケーションのために—使い方の手引き
  - ・CEFR-J 開発経緯及び現状と今後への示唆

(2) 検討事項

- ・国内における日本語教育の現状と課題について

第2回 7月15日(金) 15:00-17:00

(1) ヒアリング(大木委員、近藤委員)

- ・CEFR、CEFR-CV とフランスの研究者のCEFR、CEFR-CV 批判から学ぶ
- ・入門レベルに関するフランスでの取り組み—成人移民に対するフランス語教育に注目して—

(2) 検討事項

- ・異文化間能力と言語能力の評価について

第3回 9月21日(水) 15:00-17:00

(1) ヒアリング(琉球大学 葦原恭子氏)

- ・高度外国人材に求められる「仲介スキル」&「オンライン業務スキル」とは—CEFR2018 補遺版を援用した Can-do statements の構築—

(2) 検討事項

- ・CEFR-CV における仲介等の概念の整理について

第4回 11月11日(金) 15:00-17:00

(1) ヒアリング(真嶋委員、国際交流基金 菊岡由夏氏)

- ・ドイツの移民政策と「統合コース」におけるCEFR及びCEFR-CVの文脈化
- ・日本語学習番組 ひきだすにほんご Activate Your Japanese!

(2) 検討事項

- ・CEFR-CVの日本語教育への文脈化について

第5回 1月13日(金) 15:00-17:00

(1) ヒアリング(福島委員)

- ・政策文書で示された目的を達成するために参照できるCEFR-CVの概念

(2) 検討事項

- ・「日本語教育の参照枠」補遺版を編集する上での課題の洗い出しと整理

## ○取りまとめの方向性

目的:「日本語教育の参照枠」(報告)の取りまとめ後においても、政府の外国人材の受入れ・共生に関する新たな方針等が示されている。本報告では、これらの新たな方針等を踏まえた日本語教育施策を推進するにあたって必要となる考え方や指標等について、CEFR(2020)で示された考え方や指標等を参照し、今後更に検討が必要になると考えられる事項を示す。

対象：日本語教育コーディネーター、日本語教師、日本語学習支援者など、日本語教育に関わる全ての者

主な検討事項（案）：

- ・ CEFR（2020）で新たに示された内容の概観
- ・ 日本語能力観について
- ・ 仲介に関する言語活動・異文化間能力に関する説明及び指標
- ・ 新たに示された言語能力記述文を活用した学習活動と言語学習環境の設計と評価
- ・ 日本語教育における CEFR（2020）に関連する取組の事例
- ・ 日本語教師の養成及び研修について

参考資料（現段階におけるもの）

- ・ Council of Europe (2012) A Framework of Reference for Pluralistic Approaches to Language and Cultures (FREPA)

<https://carap.ecml.at/Portals/11/documents/CARAP-version3-EN-28062010.pdf>

- ・ Council of Europe (2021) Enriching 21st century language education-The CEFR companion volume in practice

[PREMS 080322-\(2022\)-Enriching 21st century language education-The CEFR companion volume in practice.pdf \(hepl.ch\)](PREMS 080322-(2022)-Enriching 21st century language education-The CEFR companion volume in practice.pdf (hepl.ch))

CEFR(2001)、CEFR(2020)と「日本語教育の参照枠」等及び本ワーキンググループにおける検討事項との関連について(案)

| CEFR(2001)目次 |                  |
|--------------|------------------|
| 第1章          | CEFRの政治的および教育的背景 |
| 第2章          | CEFRの理論的背景       |
| 第3章          | 共通参照レベル          |
| 第4章          | 言語使用と言語使用者/学習者   |
| 第5章          | 言語使用者/学習者の能力     |
| 第6章          | 言語学習と言語能力        |
| 第7章          | 言語教育における課題とその役割  |
| 第8章          | 言語の多様性とカリキュラム    |
| 第9章          | 評価               |
| 付録A          | 言語熟達度の記述文の開発     |
| 付録B          | 能力記述文の例示的尺度      |

| 「日本語教育の参照枠」目次    |                                      |
|------------------|--------------------------------------|
| 「日本語教育の参照枠」の検討経緯 |                                      |
| I                | 1 現状                                 |
|                  | 2 課題                                 |
|                  | 3 「日本語教育の参照枠」が目指すもの                  |
|                  | 4 「日本語教育の参照枠」が枠組みとしてCEFRを参考にすることについて |
| 「日本語教育の参照枠」について  |                                      |
| II               | 1 構成                                 |
|                  | 2 日本語能力観と六つのレベル                      |
|                  | 3 全体的な尺度                             |
|                  | 4 言語活動ごとの熟達度                         |
|                  | 5 活動Can do一覧                         |
|                  | 6 方略Can do一覧・テキストCan do一覧            |
|                  | 7 能力Can do一覧                         |
|                  | 8 漢字を含む文字の扱いについて                     |
|                  | 9 「日本語教育の参照枠」の今後に向けた検討課題             |
| 日本語能力評価について      |                                      |
| III              | 1 「日本語教育の参照枠」における言語教育観に基づく評価の三つの理念   |
|                  | 2 「日本語教育の参照枠」における日本語能力観及び評価の考え方      |
|                  | 3 日本語能力判定のための試験について                  |
| 参考資料             | 1 言語能力記述文の作成方法及び検証手法に関するガイドライン       |
|                  | 2 話し言葉の質的側面                          |
|                  | 3 JF日本語教育スタンダードについて                  |
|                  | 4 就労場面で必要な日本語能力の目標設定ツールについて          |
|                  | 5 評価の種類                              |
|                  | 6 日本語の能力判定に係る試験一覧                    |
|                  | 7 参考文献                               |
|                  | 8 「日本語教育の参照枠」取りまとめまでの沿革              |
|                  | 9 文化審議会国語分科会委員名簿及び審議経過等              |

| 「日本語教育の参照枠」の活用のための手引き 目次 |                              |
|--------------------------|------------------------------|
| 「日本語教育の参照枠」とは            |                              |
| 第1章                      | 1. 「日本語教育の参照枠」とは             |
|                          | 2. 言語教育観、日本語能力観について          |
|                          | 3. 言語能力記述文(Can do)について       |
|                          | 4. 日本語能力の評価について              |
| Can doをベースにしたカリキュラム開発の方法 |                              |
| 第2章                      | 1. コースデザイン                   |
|                          | 2. 評価                        |
| Can doをベースにしたカリキュラムの事例   |                              |
| 第3章                      | 1. 生活:地域日本語教育における県の事例        |
|                          | 2. 留学:法務省告示校の事例              |
|                          | 3. 就労:定住外国人に対する就職支援事業実施機関の事例 |
| 参考資料                     | 1. 「日本語教育の参照枠」全体的な尺度         |
|                          | 2. 「日本語教育の参照枠」言語活動ごとの熟達度     |

| CEFR(2020)目次 |   |
|--------------|---|
| 第1章          | 序章  |
| 第2章          | 教育と学習のためのCEFRにおける重要な側面                        |
| 第3章          | CEFRの例示的言語能力記述文:<br>コミュニケーション言語活動と方略          |
| 第4章          | CEFRの例示的言語能力記述文:<br>複言語・複文化の能力                |
| 第5章          | CEFRの例示的言語能力記述文:<br>コミュニケーション言語能力             |
| 第6章          | CEFRの例示的言語能力記述文:<br>手話能力                      |
| 付録           | 1 CEFRLレベルの顕著な特徴                              |
|              | 2 自己評価表(オンラインでのやり取り、仲介)                       |
|              | 3 話し言葉の質的側面(音素の把握)                            |
|              | 4 書き言葉の評価表                                    |
|              | 5 オンラインでのやり取りと仲介活動についての<br>言語能力記述文の様々な領域での使用例 |
|              | 6 例示的言語能力記述文の開発と検証                            |
|              | 7 2001年版の言語能力記述文の変更                           |
|              | 8 補足的な言語能力記述文                                 |
|              | 9 新しい言語能力記述文に関する参考文献                          |
|              | 10 オンラインに関する参考文献                              |

| 本ワーキンググループでのヒアリング及び検討事項                     |  |
|---|--|
| 第1回(6/10)                                   |  |
| (1)国内における就労者に対する日本語学習の目標設定                  |  |
| (2)国内の英語教育におけるCEFR及びCEFR-CVの受容              |  |
| 検討事項:国内における日本語教育の現状と課題について                  |  |
| 第2回(7/10)                                   |  |
| (1)フランスにおけるCEFR及びCEFR-CVへの批判                |  |
| (2)成人移民に対するフランス語教育と評価                       |  |
| 検討事項:異文化間能力と言語能力の評価について                     |  |
| 第3回(9/21)                                   |  |
| (1)高度外国人材に求められる「仲介スキル」                      |  |
| (2)高度外国人材に求められる「オンライン業務スキル」                 |  |
| 検討事項:CEFR-CVにおける仲介等の概念の整理について               |  |
| 第4回(11/11)                                  |  |
| (1)ドイツの移民政策と「統合コース」におけるCEFR                 |  |
| (2)日本語学習番組 ひきだすにほんご Activate Your Japanese! |  |
| 検討事項:CEFR-CVの日本語教育への文脈化について                 |  |
| 第5回(1/13)                                   |  |
| (1)政策文書で示された目的を達成するために参照できるCEFR-CVの概念       |  |
| 検討事項:「参照枠」補遺版を編集する上での課題の洗い出しと整理             |  |